



特別寄稿

在宅療養現場での COVID-19 対策

高畠町保健医療統括監 ICD (Infection Control Doctor) 加藤 修一



在宅療養者は高齢で種々の基礎疾患を持ち、介護サービス等を利用する等の特性があり、COVID-19の感染リスクや重症化リスクは極めて高いと言われています。そしてCOVID-19に罹患した場合、PCR検査や入院のための移送の問題、認知症による治療抵抗性の問題、治療により病状が改善してもADL低下の問題、さらに、関係する多くの職種に一時的な不足を招くなどの多くの問題が噴出します。従って我々医療介護に携わる者が徹底してウィルスを持ちこまないことが最も効果的な対策です。

一般的に在宅療養者においては自身で外に出歩くことは極めて少ないため、感染経路を1)家族等の同居者、2)医療職・介護職、3)通所サービス利用もしくは短期入所サービス利用者に絞ることができるため、保健所と連携して早期にクラスター発生を阻止しなければなりません。

しかしCOVID-19流行している状況下で発熱や呼吸器症状を呈した場合、誤嚥性肺炎との鑑別が一番悩みますが、私は下記の所見を参考に診察しています。

(因みに超高齢者は風邪などのウィルス感染を起こしにくいと言われています)

『誤嚥性肺炎を疑う所見』

- COVID-19 患者との濃厚接触歴がない
- 脳血管障害や誤嚥性肺炎の既往がある
- 直近日で誤嚥のエピソードがある
- 介護者や家族内で上気道感染症患者はいない
- 通所している施設での呼吸器症状の発症(職員を含む)は認められない

もし在宅療養者の COVID-19 感染が診断された場合、同居家族の感染有無を早期に確認する事と同時に感染リスクを最小化するための予防支援は大切です。

今冬COVID-19の第2、第3波が懸念されます。インフルエンザとの鑑別に苦慮しないように療養者及び同居家族・介護者へのインフルエンザワクチン接種は必須です。

COVID-19 拡大により、地域住民の不安が高まっており、感染者を含めご家族に非難、中傷が実際におこっています。このような事がおきないように関係者で正確な情報を発信共有して地域を環境整備(リスクコミュニケーション)することも大切です。このことは地域力を高めることに繋がるでしょう。

限られた紙面で具体的予防策を述べることは出来ません、日本在宅医療連合学会のホームページ「在宅医療における新型コロナウイルス感染症対応Q&A改定第2版」Ver2.1が詳しいですので是非参考にしてください。



しょうじ りきこ
東海林 利喜子氏

担い手紹介
南陽市・東置賜郡医師会
在宅医療介護連携推進員

令和2年4月より前任者の渡部佳津子氏に代わって着任されました。今後、高畠町在宅医療介護連携推進協議会との連携協力をお願いすることになります。介護支援専門員として15年、これまで、数々の困難事例を担当してこられた自信が、言葉の端々に感じられました。モットーは「全ては利用者様のために」ということです。 ご活躍を期待申し上げます。

令和2年度第1回幹事会

5月20日（水）午後7時げんき館

粕川会長の挨拶に始まり門脇幹事長の座長で議事進行。
各部会長より令和元年度事業が報告され、続いて2年度の
事業計画が発表され全会一致で了承されました。
会議終了後「認知症初期集中支援チーム検討委員」の
委嘱状交付が行われ、市川健康長寿課長より各委員に手渡
されました。



粕川会長の挨拶と門脇座長

<会議で了承された令和2年度事業>

6月24日 調剤薬局部会 薬薬連携の取り組み

7月14日 看護介護部会（隔月開催）

7月31日 第1回多職種合同研修会「オーラルフレイルについて」

9月 第2回幹事会

10月 医師部会 / 町民対象啓発講座

11月 見える事例検討会

12月 第2回多職種合同研修会

令和3年 2月 第3回幹事会

※ 今後の事業予定は変動することがあります。

令和2年度「調剤薬局部会」は薬・薬連携 の実践検討から



会場 げんき館多目的研修室

6月24日に開かれた「調剤薬局部会」では、公立高
島病院と町内調剤薬局間の連携について検討され、い
わゆる疑義照会以外での相談時の方法を、トレーシン
グレポートを使用すること、その窓口を病院医療連携
相談室にすることで統一されました。更に実際の運用
面での事例が3例提示され、それぞれについての活発な
意見交換がなされました。今後はより連携が円滑にな
り、利用者のメリットが増えることが期待されます。

令和2年度第1回「看護介護部会」

7月14日（火）午後2時30分 げんき館

隔月の第2水曜日に開催されていた看護介護部会
は、今年度より奇数月の第2火曜日に開催日を変更
しました。高島病院からは高橋看護部長、寒河江部
会長を含む各病棟、外来看護師長、ソーシャルワー
カー、栄養管理科長ら11名、町内居宅介護事業所
からは、管理業務を担う部会メンバーの介護支援専
門員等6人が出席し、昨年度の活動の振り返りに始
まり、今年度の活動計画、各事業所の報告がなされ
ました。特に今回は、利用者の服薬管理の現状と薬
局との連携、感染症対策についての現況報告となり
ました。

編集後記

今回は特別に、保健医療統括監の加藤先生よりご寄
稿願いました。先生は感染症制御の専門家として、高
島病院における、この度のCOVID-19の院内感染防
止対策にご尽力されました。それを踏まえて、在宅医
療において留意すべきことをお教えいただきました。
さて、協議会は会議風景の写真を見て頂ければお分り
かと思いますが、出席者間の距離が広がっていま
す。物理的な距離に合わせて、“気持ちの間隔”まで
開き過ぎないようにしなければいけませんね。

編集部 縮井